

今ある危機を乗り越え、輝く三鷹の未来を切り拓くために^{ひら}

～「三鷹市自治体経営白書 2009」の発行にあたって～

このたび、平成 20（2008）年度における三鷹市の主な取り組みの進捗度と成果を明らかにした「自治体経営白書 2009」をとりまとめました。

私は、私自身の政策ビジョンを提示しながら、各部の自発的な政策提案を基にきめ細かく協議を重ねる「政策会議」を、毎年秋から開催して翌年度の政策を検討しています。その過程を経て、新年度には、各部の部長と「市民代表である」市長との間で交わす「成果契約」とも言える『各部の運営方針と目標』をまとめて公表し、その達成に向けて取り組みを進めます。各部が掲げた主要事業については、実施段階でしっかりと行政評価を行い、その進捗度を客観的に評価するとともに、関係する課題についても分析し検討します。この「自治体経営白書」には、選挙で信託を受ける市長が市民の皆様公表している「お約束（マニフェスト）」の反映を含みつつ、市民の皆様とのニーズと参加によって策定された基本計画等の取り組み状況をお示しするとともに、当該年度の各施策・事業の達成状況について、評価・検証の内容も含めて掲載しています。

市制施行 60 年の節目の年を一年後にひかえた三鷹市は、都市としての成熟期を迎え、公共施設を適正に更新していくべき時期を迎えています。平成 21 年 4 月には「都市再生推進本部事務局」の体制を強化し、これまで進めてきた計画的な業務遂行体制に機動性を強めました。この「都市再生」の取り組みは、中・長期的視点に立って、最適かつ効率的な「未来への投資」を行うという極めて難しい課題です。このため、厳しい財政状況の下にあっては、これまで以上に「選択と集中」による施策の重点化を進め、財源の確保を図る必要があります。

そして、市民の皆様にとっては、景気の低迷と深刻な雇用状況が続く中、不安感が募る状況です。日常生活を守るセーフティネット機能を含めた「安心」につながる施策の重要性が一層増しています。そこで、「自治体経営白書」の巻頭に毎回掲載してきた学識研究者の論考について、今年三鷹市が最重点プロジェクトの一つにしている「地域ケア推進プロジェクト」に関連した論考をお願いしました。執筆は、「地域に根ざした社会福祉」と「社会福祉への住民参加」について研究を進めていらっしゃるルーテル学院大学教授の和田敏明教授にお願いし、「ともに支えあう地域社会の実現に向けて - 地域ケアの展望と課題 - 」という標題でご寄稿いただきました。これからの地域福祉の基本は「新たな支えあい」であり、人と人とのつながりと、関係機関による協働から生み出されるものです。少子高齢化が進む今、一人ひとりが地域社会で最期までいきいきと自立して過ごすことができるための施策を充実していきたいと思えます。

私は、職員と共に、常に「学習する組織づくり」を進め、現在の施策に対する真摯な検証を行います。同時に、市民の皆様幅広い声を受け止めて、課題を探り出し、新たな政策やビジョンを検討し、具体化することによって、「今ある危機を乗り越え、輝く三鷹の未来を切り拓くために」創造的なまちづくりに取り組んでまいります。

この「自治体経営白書 2009」が、市民の皆様との情報共有の機能を果たし、民学産公で進める「協働のまちづくり」の更なる推進の一助となり、今後の三鷹市の地方自治の在り方と自治体経営改革の方向性を示すものとなることを願っています。

平成 21（2009）年 7 月

三鷹市長 清原慶子

三鷹市自治体経営白書 2009 目次

「今ある危機を乗り越え、輝く三鷹の未来を切り拓くために」 三鷹市長 清原 慶子
「三鷹市自治体経営白書 2009」の構成

特別寄稿

「ともに支えあう地域社会の実現に向けて—地域ケアの展望と課題—」……………	2
ルーテル学院大学 総合人間学部教授 和田 敏明	

I 基本構想で定める「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み 平成 20 年度	
1 三鷹子ども憲章 ^{みたかこ} の制定 ^{けんしょう} ……………	14
2 民間活力を活用した「市民便利帳」及び「東京人」増刊号の発行……………	16
3 太宰治顕彰事業の推進……………	18
4 「プレミアム付き市内共通商品券による市内商業活性化の取り組み」について……………	19
5 都市型水害対策への対応……………	20
6 無作為抽出の市民参加方式による「東京外かく環状道路中央ジャンクション三鷹地区検討会」の取り組み……………	22
II 第3次基本計画（第2次改定）の達成状況 平成 20 年度	
1 概要説明……………	26
2 第3次基本計画（第2次改定）全35施策の達成状況……………	27
3 平成20年度事業評価 評価結果概要……………	63
III 「各部の運営方針と目標」の達成状況 平成 20 年度	
1 企画部……………	70
2 総務部……………	77
3 市民部……………	82
4 生活環境部……………	86
5 健康福祉部……………	92
6 都市整備部……………	98
7 水道部……………	106
8 教育委員会……………	109
IV 行財政改革アクションプラン 2010 の達成状況 平成 20 年度	
1 概要説明……………	118
2 行財政改革アクションプランの達成状況……………	119
（1）主要な財政目標の達成状況 平成 19 年度 ……………	119
（2）最重点課題の達成状況一覧……………	120
（3）主な重点課題の達成状況一覧……………	123
（4）主な推進課題の達成状況一覧……………	135
（5）行財政改革アクションプラン 2010 の実施による財源効果《参考》……………	144

(6) 2008 年ベストプラクティス表彰及び平成 20 年度職員提案表彰の結果	144
--	-----

V 三鷹市の財政状況 平成 19 年度

1 決算統計と普通会計	148
2 決算額の推移から見た特徴点（平成 10 年度～平成 19 年度）	148
3 平成 19 年度決算の特徴点	151
4 決算カードによる財政状況検証のポイント	152
5 財政指標	156
6 財政比較分析表	164
7 歳出比較分析表	170
8 財政状況等一覧表	175
9 財務諸表	176
(1) バランスシート	176
(2) 行政コスト計算書	178
(3) キャッシュ・フロー計算書	179
10 「三位一体の改革」の影響等	182
11 地方公共団体財政健全化法	184

別冊 資料編（目次）

I 平成 20 年度事業評価の結果	1
II 三鷹市の財務諸表（詳細版） 平成 19 年度	
1 バランスシート（普通会計）	212
2 行政コスト計算書	224
3 市全体のバランスシート	232
4 連結バランスシート	238
5 キャッシュ・フロー計算書	242
資料（普通会計バランスシート）	246

「三鷹市自治体経営白書 2009」の構成

特別寄稿
地域ケアにおける課題について、和田 敏明 ルーテル学院大学総合人間学部教授による解説・分析を掲載しています。
第Ⅰ章 基本構想で定める「自治体経営の基本的な考え方」に基づく取り組み
基本構想に定める自治体経営の基本的な考え方に基づいた施策展開の事例について、平成 20 年度の取り組みとして「三鷹子ども憲章 ^{みたかこ けんしょう} の制定」など 6 事業について掲載しています。
第Ⅱ章 第3次基本計画(第2次改定)の達成状況
平成 20 年 3 月に確定した第 3 次基本計画(第 2 次改定)の達成状況について、全 35 施策の進捗状況及び成果について説明しています。また、計画に掲載する主要事業等の個別事業の取り組み状況及び成果に関して、平成 20 年度事業評価結果の概要を掲載しています。
第Ⅲ章 「各部の運営方針と目標」の達成状況
「各部の運営方針と目標」の達成状況を掲載しています。「各部の運営方針と目標」は、① 部の使命・目標に関する認識、② 職員数、予算規模等の部の経営資源、③ 部の実施方針及び個別事業の目標等で構成されています。平成 20 年度の達成状況については、個別事業とその目標の実績について取りまとめています。
第Ⅳ章 行財政改革アクションプラン 2010 の達成状況
平成 17 年 3 月に確定した行財政改革アクションプラン 2010 の平成 20 年度までの取り組みについて説明しています。また、行財政改革アクションプラン 2010 による平成 19 年度の財源効果や、2008 年ベストプラクティス（市長表彰）の結果等についても掲載しています。
第Ⅴ章 三鷹市の財政状況
平成 19 年度までの決算データをもとに、三鷹市の歳入・歳出等に関する財政状況を「類似団体」との比較も踏まえて説明をするとともに、平成 19 年度の財務諸表の概要版としてバランスシート、行政コスト計算書、キャッシュ・フロー計算書を掲載しています。また参考として、地方公共団体財政健全化法などについて掲載しています。
別冊 資料編
平成 20 年度事業評価の対象である 104 事業の評価表全件を掲載するとともに、平成 19 年度の財務諸表（詳細版）としてバランスシート（普通会計）、行政コスト計算書、市全体のバランスシート、連結バランスシート及びキャッシュ・フロー計算書を掲載しています。